

競技注意事項

2021 中学通信

本競技会は、完全な無観客での実施となります。競技会を開催するにあたって競技役員、選手、保護者の方々のご協力があつて成り立っています。それぞれの感染対策を徹底した上で、参加していただけるようにお願いします。北陸上競技場は、建物の構造上、外部から競技の様子を見ることができるところがあります。しかし、その場所周辺に観戦者が集中しており、現在の状況を考えますと感染対策として不十分であるとの指摘をいただきました。競技会を安全に実施していくために、それらの場所での観戦についてもご遠慮ください。

観戦している場合には、お声をかけさせていただきます。今後の競技会の開催にも関わってくる部分でもありますので、ご理解ご協力をお願いします。

1 本大会は2021年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

2 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。跳躍競技は胸または背につけるだけでもよい。
- (2) 800m以上の距離に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付する。
ランニングパンツの右横や後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（ゴール前方スタンド側）に返却する。

3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップは、レクリエーション広場を最終種目の招集開始時刻まで使用できる。
また、競技に支障の無い範囲で、北陸上競技場を使用してもよい。
ただし、競技に支障があると判断した場合には、使用に関して競技役員から指示を行う。
- (2) 投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。レクリエーション広場、近隣の公園、競技場周辺等では絶対に行わない。
- (3) 大会開始前のウォーミングアップは、大会の準備に支障のない範囲で、北陸上競技場を使用できる。ホームストレートや競技が行われる場所については、競技開始時刻の15分前から使用を禁止する。

4 招集について

- (1) 招集所は別紙で確認すること。種目ごとに場所が異なるので注意すること。
- (2) 招集は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	招集開始	招集完了
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前	30分前
棒高跳	70分前	60分前
混成競技	1種目目は他の競技種目と同様に招集所で行う 2種目以降はトラック15分前現地 フィールド20分前現地 ※2日目についても、1種目目は招集所で行う。	

- (4) リレーの**オーダー用紙は、招集完了 60 分前までに招集所に提出する。**用紙は招集所に用意する。
- (5) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任（招集所）に事前に申し出る。

5 競技場への入退場について

- (1) 別紙で導線を確認すること。係員の指示があった場合は、その指示に従って行動すること。
- (2) 退場は、下記による。
 - ・トラック競技 決められた退場口（別紙で確認）から退場する。
 - ・フィールド競技 決められた退場口（別紙で確認）から退場する。競技役員の指示・誘導による。

6 レーン・試技順について

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムで示す。
- (2) 決勝のレーンは、主催者において公平に抽選し、その結果は WEB 記録速報、および正面出入り口付近に掲示する。
- (3) 欠場者のレーンはあける。
- (4) 走高跳、走幅跳の 1 組は A ピット、2 組は B ピットで競技を行う。

7 トラック競技の次のラウンド進出の決定について

- (1) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が 0.001 秒の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。（競技規則 TR 2 1）
- (2) 抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。アナウンスしてから 10 分以内に本部へ集合する。
- (3) 進出決定者は、アナウンスおよび、WEB 記録速報で発表する。
- (4) A B C 決勝および A B 決勝を行う種目について
「0 着 +16 (24)」の種目は、予選記録の上位 8 名で A 決勝、9 番目～16 番目の 8 名で B 決勝、17 番目～24 番目の 8 名で C 決勝を行う。

※いずれにおいても、A 決勝進出者が決勝を棄権しても、B (C) 決勝から A (B) 決勝への繰り上げは行わない。

8 競技について

- (1) トラック競技は、競技規則 TR 1 6 6・7 により、不正スタートをした競技者は 1 回目で失格とする。
- (2) フィールド競技の招集後競技開始前の練習は、審判員の指示によって行う。
- (3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおり。状況により変更することがある。

予選	練習		1	2	3	4	5	6	通過記録
男子走高跳	1m60	1m75	1m64	1m69	1m74	1m79	1m82	1m85	1m85
男子棒高跳	3m00	3m80	3m10	3m30	3m50	3m70	3m90	4m00	4m00
女子走高跳	1m35	1m50	1m39	1m44	1m49	1m54	1m57	1m60	1m60

決勝	練習		1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m70	1m79	1m73	1m76	1m79	1m82	1m85	1m88	以後 3cm
男子棒高跳	3m20	3m80	3m40	3m60	3m80	3m90	4m00	4m10	以後 10cm
女子走高跳	1m45	1m54	1m48	1m51	1m54	1m57	1m60	1m63	以後 3cm

- (4) 走高跳・棒高跳の練習は 2 つの高さを時間で区切って行う。競技者は、その時間内で競技役員の指示のもと自由に練習してよい。
- (5) 第 1 位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では 2 cm、棒高跳では 5 cm とする。
- (6) 棒高跳競技者は「棒高跳支柱位置申請」を競技場所で口頭で行う。
- (7) 混成競技の走高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。状況により変更することがある。

混成競技			練習		1	2	3	4	5	6	
中学	男子	走高跳	1m35	1m60	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以後 3 cm
四種	女子	走高跳	1m15	1m35	1m20	1m25	1m30	1m35	1m38	1m41	以後 3 cm

※練習は 2 つの高さを時間で区切って行う。競技者は、その時間内で競技役員の指示のもと自由に練習してよい。

9 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。
ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。
- (2) フィールド競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。2個まで使用できる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。走高跳はテープを持参して使用する。
- (3) リレーのマークは主催者で用意する。ただし、競技規則に適合するものであれば、各学校で用意したマークを使用できる。

10 競技用シューズの規定について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。スパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) 使用するシューズについては、競技規則 TR5.2/TR5.3/TR5.4/TR5.5/TR5.6を適用する。ただしフィールド競技用として小売りされているシューズについては競技規則 TR5.5の適用を除外する。
- (3) 規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。
競技前に確認した場合は、そのシューズの使用を認めない。招集後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格の扱いとする。

11 表彰について

- (1) 各種目の入賞者には賞状を授与する。(リレーは2・3位)
- (2) A・B(C)決勝を行う種目は、A決勝出場者のみ表彰の対象とする。
- (3) 表彰式は1～8位入賞者に対して行うので成績発表後、本部前の表彰テントに集合する。

12 パロマ瑞穂北陸上競技場の使用について

- (1) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任もって行き、環境美化に努める。

13 その他

- (1) 記録発表について
記録の掲示は行わない。アナウンス、及びWEB記録速報で発表する。なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時間とする。
- (2) 応援について
無観客での実施となるため、競技場内外で声を出しての応援は禁止とする。鳴り物を用いた応援についても禁止とする。
- (3) 横断幕の設置は、競技場フェンスに設置すること。
- (4) 氏名・所属等の訂正は、本部に申し出る。
- (5) 400mまでのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走り、減速し止まること。
- (6) リレーは、バトンを渡し終わってもすべてのチームが通過するまで自分のレーン内に止まる。
- (7) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は、各自で管理する。
- (8) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。
- (9) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、近くの審判員またはトレーナーに声をかけ、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (10) 記録証は、500円を添えて、記録室へ申し込む。(送料込み)

※全国大会の標準記録を突破した学校の顧問は、全国大会受付室(北陸上競技場西側スタジオ)で担当より必要書類を受け取ってください。

該当する学校の顧問の先生、学校関係者の代表者の少なくとも1名は、7月25日(日)の県総体終了後(延期された場合は26日)に、パロマ瑞穂アリーナの第1競技場において監督会議を行うので、必ず出席してください。

全国大会の申し込み関係、宿泊、当日までの流れについての説明を行います。事前に配付した資料をお持ちください。